

全国の警察が令和3年に大麻事件で摘発した容疑者は5482人で、そのうち約7割が30歳未満の若者でした。未成年者は994人に入り、5年連続で過去最多でした。

中学生8人、

高校生186

人、大学生50

人が摘発されています。大麻乱用者は若者の間で確実に増加しています。大麻の危険性に対しては「全くない・あまりない」などと、若者の認識が薄くなっています。

大麻から若者を守ろう

大麻の乱用は知覚の変化や学習能力の低下、運動失調などを及ぼします。さらに長く乱用すると、精神障害や知能指数の低下、薬物依存になります。しかし、インターネット

には「大麻は身体への悪影響はない」など誤った情報があふれています。若者たちは友人・知人などから大麻の使用を誘われています。大麻の真実を知らせ、若者を守りましょう。

防犯一口メモ